

学級活動指導案

題材名「スローガンを振り返り、合唱祭に向けてクラスで取り組むことを決めよう」

令和5年10月 第1学年 指導者 鹿田 知弘

I 議題の構想 「スローガンを振り返り、合唱祭に向けてクラスで取り組むことを決めよう」

学級活動（1）学級や学校における生活づくりへの参画

1 題材観

本題材は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説特別活動編の学級活動「（1）学級や学校における生活づくりへの参画」について、多様な意見を認め合いながら話し合い、目指していくものである。

生徒の興味・関心が高い学校行事である合唱祭を通して、互いのよさを認め合いながら一つの目標に向かって主体的に取り組もうとする態度や、学級に貢献しようとする態度を育てることをねらいとしている。このことは、生徒が自己理解を深め、自分のよさに気づき、それを生かそうとする態度を育てることにもつながる。

そのために、行事に向かってどのような学級生活を送るとよいか、自分ができることは何か等について考えさせる。その際、これまでの学級での活動の中で見えた仲間のよさから学び、自分のよさや課題を改めて見つめ直すきっかけとなるように進めていく。

2 研究との関わり

本研究では、「一人一人が互いに認め合える生徒の育成」をテーマとしている。一人一人が互いに認め合える話し合い活動を設定することが重要であると考え、ソーシャル・スキル・トレーニングを取り入れたきめ細かな話し合い活動を設定することとした。

具体的には、生徒の実態から、ソーシャルスキルの中の「聞くスキル」「共感のスキル」「話をつなげるスキル」を取り入れた話し合い活動を設定した。その中で、一人一人の意見を共有し、大切にするためにICTを活用する。「聞くスキル」を話し合いの過程に取り入れることで、互いの話をよく聞き、話しやすい雰囲気をつくる。そして、「共感のスキル」「話をつなげるスキル」を活用し、共感しながら互いの意見のよさを認め、つながり、意見がまとまっていく過程を感じられるようにする。

3 目標及び生徒の実態

	目標	生徒の実態
知識及び技能	・合唱コンクールに向けて力を合わせて取り組むことが、集団活動の向上やよりよい人間関係の形成につながることを理解させるとともに、合意形成の手順を身に付けることができるようにする。	・話し合い活動をすることに慣れ、合意形成の手順については理解が深まってきている。しかし、自分の考えを十分に表出できていない生徒もおり一人一人の考えを生かし、まとめていく力はまだ不十分である。
思考力、判断力、表現力等	・学級で決めたスローガンを達成するための取組について話し合いの中で、互いのよさを認め合いながら合意形成を図ることができるようにする。	・自分の考えのみが正しいと思う生徒や、人任せで自分から行動しない生徒がいる。話し合い活動では、意見を出しても、グループで合意形成を図るまで至っていない。グループの人にどう思われるかが心配のため、活動に消極的な生徒が多い。
学びに向かう力、人間性等	・クラスで決めた合唱コンクールのスローガンの達成に向けて活動を行いながら、主体的に他者と協働し日常生活の向上を図ろうとする態度を養えるようにする。	・行事に取り組む姿勢は前向きで、目標を立てたり、目標に対して積極的に行動したりすることができる。また、周囲に言葉を掛け合える優しさがあるが、周囲を巻き込む力や、クラス全員で協働する力が弱い。

4 評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。 課題解決に向け話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全1時間：本時第1時）

過程	時間	<input checked="" type="checkbox"/> ねらい <input type="checkbox"/> 学習活動 <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用に関する事項	知	思	主	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
事前の活動	20分×5日間	<input checked="" type="checkbox"/> クラスのスローガンを決定する。 <input type="checkbox"/> クラスでスローガンを決定する際に取り組みたい目標や言葉についてアンケートを取る。[★] <input type="checkbox"/> アンケート結果からスローガンを決定する。 <input checked="" type="checkbox"/> 合唱祭に向けたスローガンの取組を振り返り、クラスの課題を見付け、意識を高められるようにする。 <input type="checkbox"/> 練習を振り返り、端末から合唱の取組についてGoogle フォームでアンケート①②に回答させる。[★] アンケート① 合唱祭スローガンをクラスは達成できていると思いますか。[★] アンケート② 達成できていない理由を教えてください。[★] <input type="checkbox"/> アンケート①②から計画委員が合唱祭に向けた今後の取組について題材を設定し、課題を明確にする。 <input type="checkbox"/> 話し合い活動を活発に行うために、「聞くスキル」「共感のスキル」「話をつなげるスキル」のソーシャル・スキル・トレーニングを行う。	○			◆よりよいクラスづくりを目指し、合唱祭スローガンの達成に向けた話し合い活動の進め方や意思決定の方法を理解している。(知識・技能) 【活動計画表、観察】
本時の活動	1	<input checked="" type="checkbox"/> クラスのスローガンを振り返り、課題を解決するための話し合い活動を通して、学級の生徒が力を合わせて集団活動に取り組むことができるようにする。		○		

[本時のめあて・課題・見通し等]
スローガンを振り返り、合唱祭に向けてクラスで取り組むことを決めよう。

		<p>□合唱祭スローガンがなぜ達成できていないのか、今後クラスでどのように取り組んでいきたいのか、考えや理由をICTを使って付箋紙に記入して提出させたのち、グループの話合い活動を行う。(★)</p> <p>□事前の活動で学んだソーシャルスキルを想起し、ステップⅠ「聞くスキル」ステップⅡ「共感のスキル」ステップⅢ「つなげてまとめるスキル」を使ってグループで話合い活動を行う。</p> <p>□各活動場面でGoogle Jamboardの付箋紙を活用しながら話合い活動を行い、自分の考えを深める。(★)</p>			<p>◆合唱祭に向けて、よりよいクラスづくりのためのスローガンを決定することができる。 (思考・判断・表現)【観察・ワークシート】</p>
事後の活動	1	<p>□話合いで深め、合意形成した事を実践する。</p> <p>■自己の取組を友達や職員からのフィードバックを得ることで自己有用感を感じたり、次の課題解決に生かしたりすることができるようにする。</p> <p>□スローガン達成に向けた取組を一週間実践したことを振り返り、自己評価をしたり認め合ったりする。</p>		●	<p>◆クラスで決めたスローガン達成を目指し、話合い活動で決まった事柄について、意欲的に取り組もうとしている。 (主体的に取り組む態度)【観察】</p>

II 本時の展開

1 ねらい 合唱コンクールに向けてクラスのスローガンを振り返り、課題を解決するための話合い活動を通して、学級の生徒が力を合わせて集団活動に取り組むことができるようにする。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)</p>
<p>1 つかむ</p> <p>○計画委員が本時のめあて・提案の理由等を伝え、学級全体で課題をつかむ。(導入5分)</p> <p>S: 合唱祭まであと少しだけど、緊張する。</p> <p>S: 合唱祭までにあと何をやればいいだろう。</p> <p>S: よりよい歌にするためには練習が必要だね。</p> <p>S: もっと団結して、練習をしないといい歌にならない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> スローガンを振り返り、合唱祭に向けてクラスで取り組むことを決めよう</p> </div>	<p>○合唱祭でよい歌を歌うためにクラスでできること、自分にできることを考えるように促す。</p> <p>○本時の学習意欲を高められるよう、様々な発言を取り上げる。</p>

<p>○アンケート①の結果を大型モニターに映し、発表する。</p> <p>○アンケート②の結果を大型モニターに映し、友達の考えを知る。★</p> <p>S：私の考えに近い人もいる。</p> <p>S：みんなはいろいろと考えているのだな。</p>	<p>○スローガンを確認し、話し合うための意識をもたせる。</p> <p>○理由についても集計結果を分析し、意見の多かった結果を計画委員でピックアップをし、生徒に伝える。</p> <p>◎多様な意見があることを理解させ、共有させる。</p>												
<table border="1" data-bbox="172 427 804 813"> <tr> <td colspan="2">展開</td> </tr> <tr> <td>記入</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td>モデリング・ロールプレイ (学んだスキルの想起)</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>グループの話合い活動①</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>グループの話合い活動②</td> <td>15分</td> </tr> <tr> <td>全体の話合い活動</td> <td>15分)</td> </tr> </table> <p>2 出し合う (ステップⅠ)</p> <p>○スローガン達成に向けて、どんなことに取り組んだ方がよいか考え、Google Jamboard の付箋に入力する (★)。</p> <p>S：自分の意見を受け入れてもらえるから安心して書こう。(2分)</p> <p>○教師がスキルのモデリングを行い、学んだスキルを想起させる。(3分)</p> <p>T：「聞くスキル」「共感のスキル」について、先生がやってみます。</p> <p>S：聞く時や共感する時は、こうすると話合いがうまくいったのだったな。</p> <p>○グループで意見を出し合う。(5分)</p> <p>T：では、先生のスキルのよかったところを真似しながら意見を出し合ってみましょう。</p> <p>S：今のスキルを使って話を聞こう。</p> <p>S：共感しながら話を聞くことができるといいな。</p> <p>3 比べ合う (ステップⅡ)</p> <p>○「共感のスキル」を使って、自分の意見と友達の意見をグループで比べ合う。(15分)</p> <p>S：私はこう考えたのだけど、どうかな。</p> <p>S：私の考えとは違うけど、あなたはそう考えたのだね。その考えもいいね。</p> <p>○「話をつなげるスキル」を使って、グループの意見をまとめる。</p>	展開		記入	2分	モデリング・ロールプレイ (学んだスキルの想起)	3分	グループの話合い活動①	5分	グループの話合い活動②	15分	全体の話合い活動	15分)	<p>◎全ての生徒が、記入したことを基に安心して発表できるよう、Google Jamboard の付箋に入力させる。(★)</p> <p>◎モデリング・ロールプレイは大きさに相手の気持ちを考えたジェスチャーをするように心掛ける。</p> <p>◎話合い活動を行う前に、練習したスキルを確認し、活用を促すことで、一人一人が安心して話合いに参加できるようにする。</p> <p>◎「聞くスキル」「共感のスキル」「話をつなげるスキル」を活用し、スモールステップでのきめ細かな活動を設定することで、一人一人が互いに認め合える話合い活動を行うことができるようにする。</p>
展開													
記入	2分												
モデリング・ロールプレイ (学んだスキルの想起)	3分												
グループの話合い活動①	5分												
グループの話合い活動②	15分												
全体の話合い活動	15分)												

S : この意見とこの意見をつなげられるね。
S : うん、うん、そうだね。いいと思う。
S : こちらの意見と合わせてみたらどうだろう。

4 まとめる (ステップⅢ)

○班での話し合い活動を基に、これからの練習や合唱祭に向けて、「話をつなげるスキル」を使いながら、クラスで取り組むことを全体でまとめる。(15分)

- 計画委員が司会進行をする。
- グループでまとめた意見を板書する。
- グループで行ったスキルを使った話し合い活動を生かして、グループ化・類型化できそうなものを計画委員が板書する。

S : 言い方は違うけど、内容は似た意見のものも多いな。
S : 私の考えがこうやってつながって、全体の意見になっていくのだな。
S : 自分は気付かなかったけど、〇〇さんの考えもこんないいところがあるな。

(合意形成の例)

- ・恥ずかしさを減らすために、練習の初めにパートごとに発声練習をする。
- ・給食の時間にパートの音程をしっかりとれるようCDを聞く。
- ・練習の初めと終わりに全員にエールを送る。

○各グループで出された意見で、スローガン達成に向けてできることを合意形成する。

5 振り返り

- 本時の感想を書き、スローガン達成に向けての見通しをもつ。(5分)
- スキルを使った話し合い活動について振り返り、今後の話し合い活動でも活用できることを確認する。

◎グループで話し合い活動がより活発になるように認め合っている姿を称賛する。

◎使ったスキルを生かしてまとめていくよう計画委員に助言する。

○全ての意見を取り上げるのではなく、端的で共通している言葉などでまとめさせる。

○意見を整理する場面で、クラスで出された目標を達成するための方法を選んだり、自分なりの表出をしやすくしたりするために、グループ化・類型化して板書させる。

○似た意見や、まとめられそうなキーワードをグループ化する。

○決まった取組内容について、誰が、どのタイミングで声掛けをするのか確認をし、みんなで協力して分担することができるようにする。

○本時について、取組のよさを称賛し、クラス全員で決めたことが具体的に実践できるよう、誰が何をするかについて言葉を掛ける。

◎話し合い活動の中で、どのスキルを使うと話しやすいか、気持ちがいかがいかなどを聞き、今後も活用できるようにする。

◆評価項目

互いのよさを認め、友達の意見をよく聞き、参考にしながら折衷案を考えて発言したり、改善案を出したりしている。

(思考・判断・表現) 【観察・ワークシート】

3 板書計画

議題

「スローガンを振り返り、合唱祭に向けてクラスで取り組むことを決めよう」

スローガン「響け歌声 輝け絆 届け愛のメッセージ」

スローガンの達成状況

できている 〇%

できていない 〇%

理由

心が一つになっていないと思う。

ふざけている人がある。

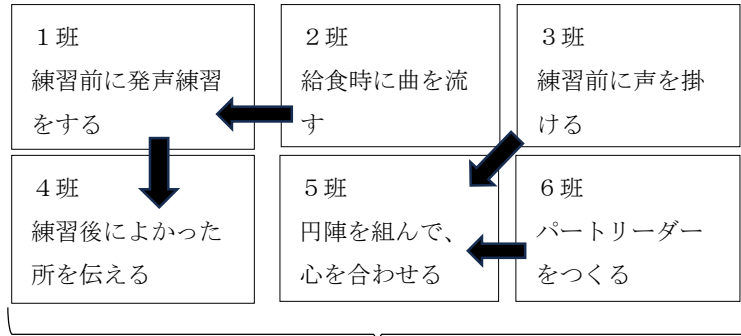
声が出ていない。

恥ずかしさがまだある。

歌詞を覚えていない。

音程がはずれている。

スローガン達成のために取り組むこと



クラスで取り組むこと

- 給食の時間に曲を流して、歌詞や音程を覚えよう。
- 練習前に円陣を組み、気持ちを高めよう。
- 練習後によかった所を伝え合おう。